



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 ミアヘルサホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7129 URL <https://www.merhalsa-hd.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 文恵  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・企画担当取締役 (氏名) 高橋 雅彦 (TEL) 03-3341-7205  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,993	0.6	24	236.5	20	—	△32	—
2023年3月期第2四半期	10,931	—	7	—	△11	—	△44	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △32百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △44百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△13.06	—
2023年3月期第2四半期	△17.83	—

(注) 当社は、2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,501	3,275	24.2
2023年3月期	14,135	3,337	23.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,274百万円 2023年3月期 3,337百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2024年3月期	—	13.00			
2024年3月期(予想)			—	17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△1.1	280	46.5	280	65.4	130	△38.0	52.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,502,300株	2023年3月期	2,488,700株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	81株	2023年3月期	81株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,490,502株	2023年3月期2Q	2,488,550株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、2023年11月9日(木)にTDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<https://www.merhalsa-hd.jp/ir/>)にも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2.
(1) 経営成績に関する説明	2.
(2) 財政状態に関する説明	3.
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4.
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5.
(1) 四半期連結貸借対照表	5.
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7.
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9.
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10.
(継続企業の前提に関する注記)	10.
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10.
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10.
(追加情報)	10.
(セグメント情報等)	11.
(収益認識関係)	12.
(重要な後発事象)	13.

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症へ移行されたことにより経済活動の正常化が進んできたほか、インバウンド需要やサービス消費の回復等により、緩やかに回復してまいりました。一方、円安の進行や不安定な海外情勢等を背景として資源・エネルギー価格の上昇等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする」をミッションに掲げ、経営計画の達成を目指してまいりました。

また、当社グループの従業員が健康で活き活きと働く職場環境づくりのために、労務コンプライアンス体制の強化と安全衛生のさらなる推進に努めてまいりました。

業績につきましては、医薬事業における薬価改定の影響に加え、介護事業において2023年8月開設の新規事業所「ホスピス対応型ホーム(定員61名)」の先行コストが生じましたが、2023年4月に開設した認可保育園3園の園児数の増加及び、医薬事業における既存店舗の処方箋枚数の回復が寄与したほか、前連結会計年度末に介護事業及び保育事業における不採算事業所の閉鎖による効率化を図ったことで増収・増益で推移いたしました。

この結果、売上高10,993百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益24百万円(前年同期比236.5%増)、経常利益20百万円(前年同期実績:経常損失11百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円(前年同期実績:親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①医薬事業

当第2四半期連結累計期間における処方箋枚数につきましては、既存店舗も回復傾向にあり、前連結会計年度に出店した新規出店効果も併せて前年同期比102.2%となりました。

一方、処方箋単価につきましては、2023年4月に実施された薬価改定の影響があったものの、高額医薬品の処方箋枚数が増加したことに加え、後発医薬品調剤体制加算強化、「かかりつけ薬局」としてのサービスの充実強化等、調剤技術料の加算獲得に努めたことで、上昇いたしました。

この結果、売上高4,547百万円(前年同期比3.1%増)、セグメント利益243百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における調剤薬局店舗数は、42店舗(前連結会計年度末比±0店舗)となりました。

#### ②介護事業

当第2四半期連結累計期間において、5事業所(訪問介護事業所2事業所、居宅介護支援事業所1事業所、訪問看護事業所1事業所、サービス付き高齢者向け住宅1事業所)の開設を実施いたしました。また、不採算事業所5事業所(通所介護事業所4事業所、定期巡回事業所1事業所)の閉鎖を実施いたしました。

業績につきましては、不採算事業所の閉鎖を実施したことで、通所介護事業所等の利用者を中心に利用者数が減少したことで減収となりました。また、2023年8月に千葉県流山市に開設した「ホスピス対応型ホーム(定員61名)」のサービス付き高齢者向け住宅1事業所及び併設事業所3事業所(居宅介護支援事業所1事業所、訪問介護事業所1事業所、訪問看護事業所1事業所)の開設に伴う先行コストが生じたことにより、利益面も低調で推移しました。

この結果、売上高1,605百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント損失85百万円(前年同期実績:セグメント損失61百万円)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における介護事業所数・施設数は、67事業所(前連結会計年度末比±0事業所)となりました。

### ③保育事業

当第2四半期連結累計期間において、認可保育園3園及び、学童クラブ1ヵ所を開設いたしました。

業績につきましては、2022年4月及び、2023年4月に開設した認可保育園の園児数が増加したことで業績に寄与いたしました。また、2023年3月末に不採算であった東京都認証保育園等の閉園により効率化が図られたことで、採算性が向上いたしました。

この結果、売上高4,410百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益244百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における運営事業所数は、78事業所（前連結会計年度末比+4事業所）となりました。

### ④その他（食品事業）

学校給食部門において、物価上昇の影響があったものの、堅調に推移いたしました。一方、当社グループがフランチャイジーとして店舗展開している銀のさら（3店舗）の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症移行等の影響による宅配食ニーズの落込みにより減少いたしました。

この結果、売上高430百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益5百万円（前年同期比64.6%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産・負債及び純資産の状況

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、4,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ379百万円減少いたしました。これは主に、未収入金が359百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、8,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が199百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、13,501百万円となり、前連結会計年度末に比べ634百万円減少いたしました。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、6,255百万円となり、前連結会計年度末に比べ327百万円減少いたしました。これは主に、未払費用が131百万円増加したものの、短期借入金が450百万円、買掛金が116百万円減少したため、全体として減少しております。

固定負債は、3,970百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が129百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、10,225百万円となり、前連結会計年度末に比べ572百万円減少いたしました。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、3,275百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が、配当金の支払いにより42百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円を計上したことにより減少したものであります。

この結果、自己資本比率は24.2%（前連結会計年度末は23.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末と比較して44百万円増加し、1,227百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は810百万円（前年同期は676百万円の収入）となりました。主な増加要因は、設備等補助金の入金額343百万円、減価償却費285百万円、未払費用の増加額131百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額116百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は144百万円（前年同期は103百万円の支出）となりました。主な減少要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出101百万円、資産除去債務の履行による支出78百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は620百万円（前年同期は445百万円の支出）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入200百万円であり、主な減少要因は、短期借入金の減少額450百万円、長期借入金の返済による支出301百万円、配当金の支払額42百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました「2023年3月期決算短信」の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,265,326	1,278,196
売掛金	2,481,488	2,398,698
商品	349,080	351,471
貯蔵品	17,512	21,101
未収入金	487,393	128,135
その他	451,997	495,829
貸倒引当金	△2,885	△2,872
流動資産合計	5,049,912	4,670,560
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,208,415	5,059,571
構築物（純額）	101,246	96,479
工具、器具及び備品（純額）	375,795	355,358
土地	797,750	797,750
リース資産（純額）	256,591	245,483
建設仮勘定	25,058	11,212
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	6,764,858	6,565,855
無形固定資産		
借地権	204,360	204,360
ソフトウェア	27,113	43,009
のれん	278,840	246,993
その他	74	74
無形固定資産合計	510,389	494,438
投資その他の資産		
長期前払費用	124,231	105,946
繰延税金資産	6,656	6,656
差入保証金	1,034,869	1,046,703
投資不動産（純額）	179,549	174,550
その他	465,444	436,585
投資その他の資産合計	1,810,751	1,770,443
固定資産合計	9,085,998	8,830,736
資産合計	14,135,911	13,501,297

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,347,151	2,230,918
短期借入金	2,090,000	1,640,000
1年内償還予定の社債	31,000	21,000
1年内返済予定の長期借入金	616,932	645,184
リース債務	37,666	34,761
未払金	287,113	364,313
未払費用	558,886	690,273
未払法人税等	59,659	27,375
預り金	81,696	125,852
契約負債	12,805	81,450
資産除去債務	55,234	-
賞与引当金	367,002	376,021
事業所閉鎖損失引当金	4,461	-
その他	33,436	18,001
流動負債合計	6,583,046	6,255,151
固定負債		
社債	34,500	24,000
長期借入金	1,876,848	1,747,370
リース債務	295,129	278,716
繰延税金負債	740,597	709,991
資産除去債務	1,028,594	1,015,542
その他	239,463	195,003
固定負債合計	4,215,132	3,970,624
負債合計	10,798,179	10,225,775
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,620	306,156
資本剰余金	517,621	523,157
利益剰余金	2,519,493	2,444,671
自己株式	△100	△100
株主資本合計	3,337,635	3,273,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	128
その他の包括利益累計額合計	96	128
新株予約権	-	1,508
純資産合計	3,337,732	3,275,521
負債純資産合計	14,135,911	13,501,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	10,931,326	10,993,830
売上原価	10,002,782	10,079,772
売上総利益	928,543	914,058
販売費及び一般管理費	921,128	889,107
営業利益	7,414	24,950
営業外収益		
受取利息	49	38
受取配当金	126	130
賃貸収入	33,912	33,398
補助金収入	4,029	1,326
その他	8,368	12,631
営業外収益合計	46,486	47,525
営業外費用		
支払利息	17,443	15,573
社債利息	229	120
賃貸原価	30,739	32,169
その他	16,716	4,327
営業外費用合計	65,129	52,191
経常利益又は経常損失(△)	△11,227	20,283
特別利益		
受取補償金	20,882	-
特別利益合計	20,882	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
閉鎖事業所関連費	-	2,582
損害賠償損失	17,850	-
過年度給与手当等	45,615	-
補助金返還損	-	17,350
解約違約金	-	40,000
特別損失合計	63,466	59,932
税金等調整前四半期純損失(△)	△53,811	△39,648
法人税等	△9,439	△7,132
四半期純損失(△)	△44,372	△32,515
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,372	△32,515

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△44,372	△32,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	31
その他の包括利益合計	33	31
四半期包括利益	△44,338	△32,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,338	△32,484
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△53,811	△39,648
減価償却費	277,721	285,858
のれん償却額	32,456	31,846
賞与引当金の増減額 (△は減少)	47,146	9,018
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	△13
受取利息及び受取配当金	△175	△169
支払利息及び社債利息	17,673	15,694
売上債権の増減額 (△は増加)	135,204	82,789
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,993	△5,979
未収入金の増減額 (△は増加)	△207,596	15,524
仕入債務の増減額 (△は減少)	△181,867	△116,232
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,433	-
未払金の増減額 (△は減少)	25,897	44,400
未払費用の増減額 (△は減少)	92,326	131,387
その他	55,648	86,688
小計	236,070	541,164
利息及び配当金の受取額	175	169
利息の支払額	△17,673	△15,694
設備等補助金の入金額	461,835	343,734
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,986	△59,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	676,420	810,024
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△17,580	△15,080
定期預金の払戻による収入	-	48,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△87,772	△101,990
敷金及び保証金の回収による収入	72,099	7,988
敷金及び保証金の差入による支出	△30,767	△19,822
建設協力金の回収による収入	8,607	8,617
資産除去債務の履行による支出	△54,744	△78,252
その他	6,673	6,242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,484	△144,296
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△20,000	△450,000
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	△333,690	△301,226
社債の償還による支出	△20,500	△20,500
配当金の支払額	△42,306	△42,294
新株予約権の行使による株式の発行による収入	140	11,020
割賦債務の返済による支出	△9,033	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△20,477	△19,318
その他	△37	1,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,904	△620,758
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	127,031	44,969
現金及び現金同等物の期首残高	1,086,848	1,182,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,213,880	1,227,691

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結子会社の吸収合併)

当社及び当社の連結子会社であるミアヘルサ株式会社は、2023年2月14日開催の取締役会において、2024年4月1日を効力発生日として、ミアヘルサ株式会社が、同社の子会社であるライフサポート株式会社を吸収合併することを決議いたしました。

取引の概要

① 被結合企業の名称及びその事業の内容

被結合企業の名称 ライフサポート株式会社

事業の内容 保育園、学童保育施設、介護施設の運営等

② 企業結合日

2024年4月1日(予定)

③ 企業結合の法的形式

ミアヘルサ株式会社を存続会社とする吸収合併方式であり、ライフサポート株式会社を消滅会社といたします。

④ 結合後企業の名称

ミアヘルサ株式会社

⑤ 企業結合の目的

ライフサポート株式会社は、東京都内を中心に45か所の保育施設(認可・認証保育所、学童クラブ等)を運営する保育事業、及び高齢者住宅等を運営する介護事業を展開しておりますが、同社が単独で事業を進めるよりも、ミアヘルサ株式会社と事業を一体化することで、オペレーションの一元管理による管理機能の強化、及び経営の更なる効率化を図ることを通じて、企業価値の向上を目指すことが最善の選択と判断し、吸収合併することを決定いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬事業	介護事業	保育事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,412,854	1,757,239	4,331,350	10,501,445	429,880	10,931,326	—	10,931,326
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	12,844	12,844	△12,844	—
計	4,412,854	1,757,239	4,331,350	10,501,445	442,725	10,944,170	△12,844	10,931,326
セグメント利益 又は損失(△)	239,990	△61,106	204,349	383,234	16,789	400,023	△392,608	7,414

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」の区分には、各報告セグメントに配分していない全社費用392,608千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬事業	介護事業	保育事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,547,562	1,605,095	4,410,668	10,563,326	430,503	10,993,830	—	10,993,830
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	21,731	21,731	△21,731	—
計	4,547,562	1,605,095	4,410,668	10,563,326	452,234	11,015,561	△21,731	10,993,830
セグメント利益 又は損失(△)	243,145	△85,719	244,634	402,059	5,949	408,009	△383,058	24,950

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」の区分には、各報告セグメントに配分していない全社費用383,058千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

当社グループの売上高は、顧客との契約から生じる収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医薬事業	介護事業	保育事業	計		
保険調剤	4,380,551	—	—	4,380,551	—	4,380,551
介護保険サービス	—	1,099,238	—	1,099,238	—	1,099,238
高齢者住宅賃料・食事代等	—	407,498	—	407,498	—	407,498
認可保育園	—	—	3,208,017	3,208,017	—	3,208,017
その他	32,303	250,502	1,123,332	1,406,138	429,880	1,836,019
顧客との契約から生じる収益	4,412,854	1,757,239	4,331,350	10,501,445	429,880	10,931,326
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,412,854	1,757,239	4,331,350	10,501,445	429,880	10,931,326

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医薬事業	介護事業	保育事業	計		
保険調剤	4,523,920	—	—	4,523,920	—	4,523,920
介護保険サービス	—	943,103	—	943,103	—	943,103
高齢者住宅賃料・食事代等	—	409,576	—	409,576	—	409,576
認可保育園	—	—	3,398,904	3,398,904	—	3,398,904
その他	23,641	252,415	1,011,764	1,287,821	430,503	1,718,324
顧客との契約から生じる収益	4,547,562	1,605,095	4,410,668	10,563,326	430,503	10,993,830
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,547,562	1,605,095	4,410,668	10,563,326	430,503	10,993,830

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業を含んでおります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。